

令和3年度 学校関係者評価委員会 報告

1. 実施日時

令和4年6月11日(土)9時～

2. 学校関係者評価委員

- ・卒業生代表(同窓会長)
- ・保護者代表

3. 学校評価の対象

- 1) 令和3年度教員による自己点検・自己評価

4. 学校関係者評価委員による主な意見および課題

* カテゴリーⅠ(教育理念・教育目的、Ⅱ(教育目標)、Ⅲ(教育課程経営)、Ⅳ(教授・学習・評価過程)、Ⅴ(経営・管理過程)、Ⅵ(入学)においては、令和4年度より3年課程の開設およびカリキュラムの改正があり、全教員で教育理念、目的、目標から見直し、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーなど、教育方針を掲げ教育課程を編成したことで、改めて看護教育課程が理解でき、全教員が同じ方向に向かって教育活動を考えられるようになったことは、良い成果であると評価する。

* Ⅶ(卒業・就業・進学)については、2年課程では勤務施設を持って学業を行っているため、就職などの支援を必要としない状況があるが、3年課程では細やかに、卒業後を見据えキャリア形成を含めた就職支援について考えていく必要がある。

* Ⅷ(地域社会/国際交流)は、留学生の受け入れ体制や海外勤務のできる学習体制についての項目があり低いポイントとなっている。これらの体制をどう整えていくか検討していく必要がある。また、ボランティア活動の奨励や他国籍の学生との交流の場を設ける取り組みについて検討していく必要がある。

* Ⅸ(研究)は、研究授業に取り組み授業力を向上させていくこと、さらに、地域にアピールするための方法として県内の研究活動に参加して欲しい。

"

